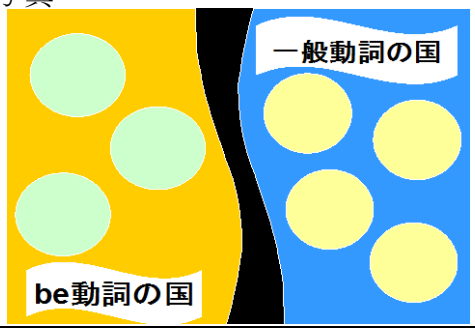
平成２２年度　ＩＣＴ活用実践シート　　保健体育　科

実践者名	保健体育科担当
活用事例	１．グループで行ったダンスを見てステップなどの確認、修正をする。
具体的な内容	１．映像遅延装置とテレビを活用する。
写真(2枚程度)とコメント	
	コメント １．映像遅延装置の活用により、細かい動きの確認をするのに役立った。 ２．すぐに観ることができるので巻き戻し等の時間を待つ必要がないのでスムーズに進められる。
使用機器･ソフト	映像遅延装置・テレビ・ビデオカメラ
成　果	１．映像を見ながら、生徒同士が修正する点や改善する点を確認することができた。 ２．映像に映し出されることで、見られるということになれ、恥ずかしがらず、意欲的に取り組むことができた。
課　題	１．配置場所の工夫をする。 ２．準備に時間がかかる。
今後への展望	１．すぐに観ることができるが長時間の記録は難しいので、ダンスのような長い動きよりも、一瞬をとらえる動き（技のフォーム等）の方が映像遅延装置を使う効果があると考えるので、活用する種目を選んでこれから活用していきたい。

平成２２年度　ＩＣＴ活用実践シート　　英語　科

実践者名	英語科担当2名
活用事例	１．文法説明に使用 ２．本文の単語練習と音読練習に使用
具体的な内容	１．be動詞と一般動詞の違いを図で説明するのに、パワーポイントにタッチペンで字を書いて説明した。その後、アニメーションを使って肯定文・否定文・疑問文の作り方を確認した。 ２．デジタル教材を使ってシャドウイングや音読練習などを行った。
写真(2枚程度)とコメント	写真  コメント １．色分けをした図の上にタッチペンで字を書くので、わかりやすいと思う。 ２．教科書を見ずに、テレビの絵だけを見ながらシャドウイングができるので、いい練習になる。
使用機器･ソフト	電子黒板・パソコン・パワーポイント・デジタル教科書
成　果	１．生徒の印象に残る授業になった。色分けがしてあり、図が分かりやすかった。毎回黒板に全て書かなくてよいので便利。 ２．教科担当の発音だけでなく、ネイティブの発音を聞かせるのに役立った。絵をヒントにシャドウイングの練習をしたり、暗唱前の音読練習をすることができるので良い。
課　題	１．その授業の間ずっと提示しておくことができないので、板書として残らない。 ２．デジタル教科書は、やや文字が小さい。
今後への展望	１．いろいろな教材を作っていけば、今後何度でも使うことができ、教員間で共有することができるので、引き続き作っていきたい。 ２．効果的な使い方を研究していきたい。